

2026年度医科学専攻シラバス

授業科目名	次世代がんプロフェッショナル養成特論		
コーディネータ	南 博信		
授業形式	講義		
単位数	1単位		
開講時期	9月-12月		
曜日・時限	別途「2026年度次世代がんプロフェッショナル養成特論開講表」により通知	授業実施形態	オンライン
重複履修	不可		
授業のテーマ	分子標的薬を含むがん薬物療法・ゲノム医療に関する最新の知見を体系的に理解する。 造血器悪性腫瘍の病態と治療に関する最新の知見を体系的に理解する。 がんを題材として、臨床試験の目的、デザインと結果の解釈、統計学的考察を理解し、エビデンスを適切に評価する能力を修得する。		
授業の到達目標	分子標的薬を含むがん薬物療法・ゲノム医療に関する最新の知見を体系的に修得する。 造血器悪性腫瘍の病態と治療に関する最新の知見を体系的に修得する。 がんを題材として、臨床試験の目的、デザインと結果の解釈、統計学的考察を理解し、エビデンスを適切に評価する能力を修得する。		
授業の概要と計画	がんに関する講義を10回程度開講する。 別途「2026年度次世代がんプロフェッショナル養成特論開講表」により通知する。		
成績評価方法	各授業の小レポート等50%、平常点評価（質疑応答時における発言等の授業への参加度）50%で評価する。		
成績評価基準	分子標的薬を含むがん薬物療法・ゲノム医療に関する最新の知見を体系的に修得できているか。 造血器悪性腫瘍の病態と治療に関する最新の知見を体系的に修得できているか。 がんを題材として、臨床試験の目的、デザインと結果の解釈、統計学的考察を理解し、エビデンスを適切に評価する能力を修得できているか。 授業への出席および小レポート（200字程度）や口頭試問等により総合的に評価し、講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を合格とする。 8回以上の受講を必要とする。（年度をまたぐことができるものとする。）		
履修上の注意 （関連科目情報）	受講生の積極的な質問・発言を期待する。 1) レポート用紙等の配付は、各受講者につき1枚のみとする。 2) レポート用紙等は、授業開始後15分以降は配付しません。 3) レポート等の提出がない場合は、出席とみなしません。 4) 受講者名簿は授業終了後、レポート提出時に記入する。		
事前・事後学修	事前学修: 各回の授業で取り扱う項目について、著書や発表論文等を読んだ上で、疑問点をまとめておくこと 事後学修: 授業で取り扱った著書や発表論文等を再読し、授業で学んだことについてまとめること		
オフィスアワー・連絡先	随時受け付けます。ただし、会議や出張で不在にすることもあるため、事前に予約すること。 【研究室】附属病院臨床研究棟 6階 腫瘍・血液内科学分野 教授室 【連絡先】医局にてアポイントを取ってください。		
学生へのメッセージ	不明な部分がある場合は、躊躇せずに質問することを心がけること。 積極的態度で、何事にも興味を持ち授業に望むこと。		
教科書	必要な場合は、別途「2026年度次世代がんプロフェッショナル養成特論開講表」により通知する。		
参考書・参考資料等	必要な場合は、別途「2026年度次世代がんプロフェッショナル養成特論開講表」により通知する。		
授業における使用言語	日本語		
キーワード			